



千地申1号「第33回定期大会」の発言に踏まえた申し入れ

地本大会での代議員発言に基づき、千葉支社と団体交渉を行う！③

6. 施策実施にあたっては、「新たな30年を展望する施策実施に向けた確認メモ」を労使双方で遵守し、「安全・健康・ゆとり・働きがい」を担保した上で、会社の発展と組合員・家族の幸せを実現するために、前広かつ真摯な労使議論を十分に行い、働く者の視点を加味した施策づくりを労使で確認すること。

- ・各種施策は「新たな30年を展望する施策実施に向けた確認メモ」に則って進めていく。
- ・びゅうプラザ閉鎖のお客さま周知開始日などは、組合に対していたずらに直前に通知しているものではない。現場と調整の上、判明した段階で組合に通知していく。
- ・「新たなジョブローテーションの実施」は周知不足もあったため、管理者を集めて勉強会を行った。社員からの質問に対し、決まっていないものは「決まっていない」と返している。



確認メモに則り、「労使間」および「管理者と社員間」のコミュニケーションを重視し、より良い施策を目指すことを確認！

7. 「乗務員室防犯カメラ」の設置に関する概要と目的を明らかにするとともに、乗務員が過剰に緊張感を持つことなく安全第一で乗務に集中できるようにすること。なお、記録したデータの閲覧・活用については妨害行為発生時のみとすること。

- ・乗務員室防犯カメラは「列車妨害があったとき」「警察からの要請があったとき」の2つの場合のみ画像を閲覧する。防犯が目的である。
- ・乗務員室防犯カメラは「誰かがモニタリングして見ている訳ではない」「音声を集音していない」という点から、いわゆる「監視カメラ」とは異なる。
- ・閲覧する場合は、取扱管理者（主に車両センターの現場長）の指示のもと、取扱担当者が取り扱う。記録媒体の関係から、現場では閲覧できないようになっている。
- ・乗務員の出場遅延などの場合に、駅の「防犯カメラ」を閲覧することはない。

**乗務員室防犯カメラは容易に閲覧できない構造で、厳正に扱うことを確認！
駅の防犯カメラも、防犯目的以外で使うことのないことを確認！**

8. 入社5年目を迎えたグリーンスタッフについては、高度なサービスレベルを有すると認められることから、希望者全員を正社員化すること。なお、「変革2027」に基づく駅職場の将来像を明らかにし、駅で勤務する社員・組合員が希望をもてるようにすること。

- ・グリーンスタッフについて、あくまでも試験の合格者を社員として採用していく。（対立）
- ・駅職場の将来像について、JR本体で運営する駅は「地区駅」や「常時運転取扱いのある駅」など、これまでの考え方と変わらない。
- ・変革2027の「すべての人の心豊かな生活」には、JESSなどのグループ会社も含む。グループ会社の職場環境については引き続き意見交換を重ねて改善していく。



委託駅の選定基準はこれまでの労使確認と変わらないことや、委託駅の環境改善に努めることを確認！

**真摯な団体交渉を通じ、仲間の不安解消に向けて一定の労使合意ができました！
安心して働ける環境づくりと、会社の発展を通じた労働条件向上を実現するため、
これからも労使間の真摯な話し合いによって課題の改善を目指します！**